

# ウォークラリー 指導者チェックシート

## 1 事前打合せ

- 事前打合せに来所した際に、ネイパル職員との打合せ
  - (1) ウォークラリーコースの設定
  - (2) 緊急車両・安全対策についての確認
    - ・緊急車両の準備・車両の扱いについて
    - ・予備用の水分補給飲料の準備について
    - ※車両については、緊急時の対応や積載する荷物などについて確認します。
    - ・マダニやスズメバチに対しての事前対策および処置方法についての確認
- ウォークラリーコースの実地踏査
  - (1) CP（チェックポイント）や危険箇所の確認
- 実地踏査を元に、引率・指導者間で再度打合せ
  - (1) CP（チェックポイント）の引率・指導者配置や緊急車両の対応についての確認
  - (2) 活動時に必要な資料やネイパル貸出物の確認

## 2 準備について

- 服装・持ち物の確認
  - ・活動に適した服装（ジャージ、帽子、長そでのシャツ、厚手の靴下など）であるか。  
※森に入るため、短パンやTシャツなど肌が露出される服装は避けましょう。
  - ・活動に適した持ち物（飲み物、携帯非常食、タオル、レインコート・撥水性の高いウインドブレーカー等の雨具）を準備できているか。
  - ・その他活動に必要なもの（ウォークラリー用の問題用紙など）
  - ・その他個人に必要なもの（日焼け止め、虫除けスプレー、リュック、時計など）
- ネイパル貸出物の確認
  - ・ウォークラリーコース地図  
※独自に設定したコースの場合は、団体でご持参ください。
  - ・バインダー
- 貸出物の破損チェック
- 緊急時の準備は万全か
  - ・指導者（引率者）は携帯電話やトランシーバーなどの連絡機器を携帯したか  
※トランシーバー（7台）については、ネイパルから貸出することが可能です。トランシーバーを使用する際は、1台につき単3電池×3本を団体で準備してください。
  - ・簡易処置を行える救急セットの有無
  - ・緊急車両の手配はできているか  
※団体での手配が難しい場合、ネイパル公用車や給水用ポリタンクの貸出が可能です。  
ただし、ネイパル公用車は職員の出勤状況によって、貸出できない場合もあります。  
※ネイパル公用車を使用する場合、ネイパル職員が運転します。（随行）

### 3 中止判断（活動1～2時間前）

- 大雨、洪水、大雪、暴風、暴風雪警報または注意報の確認
- 視界不良（周囲20メートル先が全く見えない状態）になっていないか確認
- 天候、天気予想で判断に迷った際は、ネイパル職員に相談

### 4 確認事項および指導ポイント

#### 《実施する上での確認事項》

- 天候や活動状況を考慮し、事前に設定したコースで行えるか確認
  - (1) コース上の枝木などの危険物チェックおよび除去
  - (2) コース周辺の自然環境のチェック
  - (3) ハチの巣、ダニのチェック
  - (4) 緊急車両の対応準備は整っているか
    - ・ 予備の水分補給用飲料の準備
    - ・ 緊急搬送が必要な場合の対応について再確認
- 活動の際の待機場所の設定および周知  
※待機場所の設定については、ネイパル職員と協議し、設定する。
- コースを変更する場合は、ネイパル職員へ連絡

#### 《指導ポイント》

- ラリーを早く終わることが目的ではないことを説明
- グループ内での協調性や思いやりが大切であることを説明
- CP（チェックポイント）の説明および地図の確認（分からないことは引率指導者に確認するよう促す）
- 活動中もダニチェックをこまめに行うように促す

### 5 活動終了後について

- 施設内に入る前に、参加者同士でダニチェックをする
- 参加者に体調不良者やけが人などがいないか確認
- 貸出物の破損および紛失の確認
- 貸出物の返却
- 活動時に事故や危険箇所を発見した場合はネイパル職員へ報告

### 6 その他活動実施上の留意点

- ・ 指導者（引率者）は、ウォークラリーコースの確認および参加者の実態や体力に即したプログラムであるか確認する上で、事前の下見や打合せなどの配慮が必要である。
- ・ 活動中はグループ間の間隔を3～5分空け、グループ同士のはち合わせなどが起きないように配慮が必要である。
- ・ 活動中は、指導者（引率者）間の連携を密にし、活動中の事故やけがの発生防止に努める必要がある。
- ・ 活動中に天候状況が悪くなった場合は無理をせず、活動を継続するかネイパル職員と協議し、判断することが望ましい。
- ・ 活動中に出了ゴミについては、団体で処理するか各自でお持ち帰りください。